

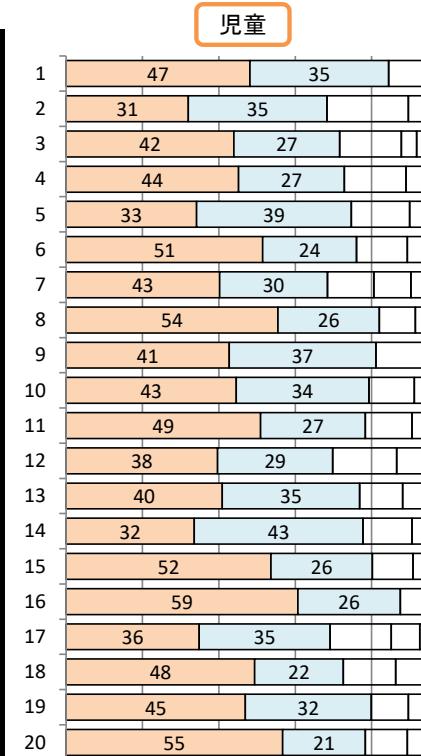
## 令和元年度学校評価(後期)結果について

平素より本校の教育にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。後期の学校評価にたくさんの方からご回答をいただき、ありがとうございます。アンケートの結果とともに分析結果についてご報告します。  
自由記述欄に書いていただいたことについて、真摯に受け止めさせていただきます。ありがとうございます。

学校教育目標 「自分の良さを生かし、夢に向かって、挑戦し続ける子どもの育成」～ひとりひとりが力を合わせ 明るくたくましく伸びていく新林の子ども～  
前期の重点目標 ①自分の良いところを知り、自信をもって行動する。 ②あきらめずに最後までやりきる。 ③家庭学習と学習の準備をしっかりととする。

令和2年 2月  
新林小学校 校長 水田 真吾

質問項目	
①	学校の勉強はわかりますか
②	自分の意見や考えを話すことができていますか
③	人の意見や考えをしっかりきくことができていますか
④	進んで本を読むことができていますか
⑤	毎日、忘れ物をせずに、学習の準備をすることができていますか
⑥	毎日、家庭学習をすることができていますか
⑦	授業や学校生活の中でがんばったことを先生はほめますか
⑧	学校に楽しくかようことができていますか
⑨	学校では先生や友だちから大切にされていると思いますか
⑩	地域の人、先生たち、友だちに進んで気持ちのよいあいさつができていますか
⑪	早寝・早起きをしたり、朝ごはんをきちんと食べたりしていますか
⑫	自分にはよいところがあると思いますか
⑬	むずかしいことでもいっぱいをおそれないでちょうどせんしていますか
⑭	学校のきまりややくそくを守ることができますか
⑮	自分から進んでそうじや係活動(委員会活動)ができますか
⑯	学校からのおたよりをお家の人に見せていますか
⑰	わからないことや困っていることを先生に相談することができますか
⑱	お家の人に学校でのできごとを話していますか
⑲	おうちの人やちいきの人からほめられることがありますか
⑳	ちいきの人との交流やゲストティーチャーとの交流、PTAぎょうじを楽しみにしていますか



そう思う・大体そう思う・あまり・思わない・空白わからない



そう思う・大体そう思う・あまり・思わない・空白わからない

児童	大人	そう思う		大体そう思う		あまり		思わない		空白わからない	
		児童	大人	児童	大人	児童	大人	児童	大人	児童	大人
①	47	28	35	57	10	11	3	2	3	2	
②	31	27	35	50	21	19	7	4	3	2	
③	42	26	27	56	16	16	4	2	8	1	
④	44	27	27	22	16	33	10	17	1	1	
⑤	33	20	39	49	15	22	7	7	3	2	
⑥	51	26	24	48	13	17	5	6	5	2	
⑦	43		30		13		10		10		
⑧	54	48	26	45	9	4	7	2	1	1	
⑨	41	41	37	52	12	4	5	1	1	2	
⑩	43	19	34	52	12	26	6	2	2	1	
⑪	49	31	27	45	12	19	8	3	1	2	
⑫	38	76	29	22	16	1	8	0	5	1	
⑬	40	18	35	54	11	23	8	4	4	1	
⑭	32	29	43	56	12	12	6	2	3	2	
⑮	52	19	26	40	10	36	4	3	5	2	
⑯	59	20	26	64	8	12	3	1	1	3	
⑰	36	25	35	59	17	10	8	2	8	3	
⑱	48	36	22	47	13	11	11	3	2	3	
⑲	45	33	32	52	9	11	8	0	2	3	
⑳	55	20	21	58	11	16	9	3	1	3	

※四捨五入のため、合計が100%にならない項目があります。

## 「確かな学力」(アンケート番号①～⑦)

今回のアンケート結果や、9月のジョイントプログラムの結果、学力調査のアンケートの経年変化から、以下のことについて重点を置いて取り組んでいきたいと思います。

## ① 基礎的・基本的な知識・技能の定着

☆アンケートの①「学校の勉強はわかりますか」で82%の児童が「わかる」と答えており、前期の89%から下がっています。しかし、ジョイントプログラムの国語・算数の結果を見てみると、前回とほぼ変わっていません。子ども一人一人の「わからない」を「できた」「わかった」にできる授業に取り組んでいきます。

## ② 話す・聞く力の向上

☆過去5年間の新林小学校の全国学力・学習状況調査のアンケート「目的に応じて自分の考えを話したり書いたりしていますか」で「当てはまる」と答えた児童は16%から36%と徐々に増え、倍以上になっています。しかし、アンケート②「自分の意見や考えを話すことができますか」では31%の児童が「そう思う」と答えており、「できますか」と聞かれると自信をもって「できている」と答える児童は少ないです。これは、自己肯定感の低さとも関連していると考えられます。自分の考えを話す経験を増やしていきます。

## ③ 家庭学習の習慣化

☆過去5年間の6年生に対するアンケート「家で自分で計画を立て勉強をしていますか」の経年変化をみると「している」と答えた児童は45%から65%に徐々に増えています。家庭学習をした時間も1日1時間以上すると答えた児童が半数を超えていました。家庭学習も自主的に自分のためにできるような内容にしていきたいと考えています。

## 「豊かな心・健やかな体」(アンケート番号⑧～⑯)

今回のアンケート結果や、1月の実施したさわやか週間の結果から、以下のことに重点を置いて取り組んでいきたいと思います。

## ① 自己肯定感の育成